

米奥小だより

令和6年9月10日(火)

No.19

米奥小学校 校長 北添 忠

〇稲を見に行きました

2学期が始まってすぐの9月3日(火)に、稲がどれだけ大きくなっているか、5.6年生が見に行きました。全校児童が協力して田植えをしたのが5月末。あれから3か月あまり、花が咲き、穂がやっと出来始めた頃かなと期待しながら見に行くと、すでに、穂が育って、少し頭を垂れた状態にまで育っていました。児童の中



には、穂の中の一粒を取って口にし、実の入り具合を確かめた者もいました。実際に口に入れて噛んでみると、デンプンの味がし、実入りはあと一步といった印象でした。稲刈りまでもう間もなく。しっかり実った稲を収穫する日が楽しみです。

〇川奥橋の工事見学

1年以上前から続いている川奥の橋の工事ですが、先日、橋げたをクレーンでつるし、据え、固定する工事が行われ、児童が見学に行きました。橋げたは鉄筋コンクリート製で、1本が19トンあり、それを10本近く据えて、橋をつくります。大型トレーラーで運ばれてきた橋げたを大型



クレーンで吊るして移動する様子を見ながら、松葉建設の中平さんから説明を受けた児童たち。じっとその様子を見入っていました。男子児童の一人は、大型クレーンに興味があるのか、説明の合間に中平さんに質問をしている姿がありました。ある児童が「この橋、

いつ完成するがやろう」とつぶやくと、中平さんは「完成したらみんなに歩いて渡ってほしいね」と。南海トラフ地震でも壊れない橋が完成するまでもう少しのようです。

〇マストのぼりの練習

8月末の愛校作業の時に、保護者や地域の人たちに立ててもらったマスト。児童がケガなく登れるようにと、ささくれを取り、表面をガスバーナーで焼きました。あれから2週間、竹表面の色が濃い緑から褐色へと変わってきました。運動会に向けて、そのマストを登る練習がスタート。登るのが得意な児童は10秒くらいで、不得意な児童は先生の助けを受けながら時間をかけて登ります。かつては運動会の定番だったマスト登り、最近はマストを立てない学校も増えてきましたが、米奥小学校では今年もマストを登ります。練習を重ね、得意な子・不得意な子みんなが力を出し、ルールを見て、誰がどこまで登るかを話し合い、競い合います。「今日のマスト、下の方がすべって登りにくい」とつぶやく児童。竹のせいなのか、湿度や足の裏についた乾いた土のせいなのか分かりませんが、この日は晴れが続き、グラウンドが乾ききった状態。運動会当日のグラウンドコンディションも勝敗に関係しそうです。



〇3学級（5.6年生）が6人に！

9月から5年生が一人増え、3人になりました。転入生は西村結愛さん。始業式であいさつした時には緊張していた様子でしたが、少しずつ学校にも慣れてきました。全校児童16名でスタートした2学期。児童数が増えて嬉しいスタートとなりました。

